

# 砂防図書館にようこそ

開館 30 周年記念誌



平成 27 年 9 月

砂 防 図 書 館

# 目 次

第 1 部 砂防図書館ご利用案内

第 2 部 砂防図書館 30 年のあゆみ

# 砂防図書館ご利用案内



## ～ 砂防図書館にようこそ ～

砂防図書館は、砂防に関する資料・書籍等を継続的に収集・整理・保存し、砂防に携わる方々に利用・活用していただくための砂防の専門図書館です。現在の蔵書数は約3万冊で、その内容は、赤木記念文庫などの貴重な蔵書を含み、内外の砂防に関する図書・報告書・視聴覚資料などや災害、防災、河川、土木、森林といった砂防に関連する分野の資料も多数取り揃えています。今や、日本で、あるいは世界でも類を見ない砂防関係の資料を集約した図書館として、たくさんの方々に利用していただけるようになりました。

砂防図書館は昭和59年(1984)12月3日に開設されて以来30年が経過しました。そして、平成27年(2015)9月1日、当館は同じ砂防会館別館Aの3階に移転し、装いを新たに開館しました。

これからも、利用者の皆様のご希望に沿いながら、お役にたてるようより質の高いサービスを提供する図書館を目指して努力をしていきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

# 目 次

## 砂防図書館ご利用案内

砂防図書館ご利用案内 砂防図書館によるこそ

設立/共同事業者/図書館の規定・ガイドライン/開館日・時間/利用資格 .....	1
利用方法/貸出し/複写サービス/レファレンスサービス/蔵書構成.....	2
図書の種類 .....	3
蔵書の特別コーナー .....	5
図書資料等のご寄贈/新たな取り組み .....	7
砂防図書館のこれから(松本美善) .....	8
砂防図書館ご案内 .....	9
砂防図書の構成とレイアウト .....	10
砂防図書館パンフレット .....	12

# 砂防図書館 30 年のあゆみ



砂防図書館が昭和 59 年(1984)12 月 3 日に開設されて、30 年が経過しました。(社) 全国治水砂防協会の赤木正雄顕彰会が所蔵する蔵書 3,000 冊の寄贈を受けてスタートした図書館は、今や蔵書数 30,000 冊を超えるまで成長し、我が国では、あるいは世界でも唯一無二の砂防関係の図書・資料を集約した図書館として、たくさんの方々にご利用いただけるようになりました。

砂防図書館の設立から運営にご協力、ご援助をいただきました関係の皆様、貴重な図書・資料をご寄贈下さいました皆様、そして図書館をご利用いただいている皆様に厚く御礼を申し上げます。

30 年という時間が長かったのか、短かったのか、遅々とした歩みではありましたが、ここで一度砂防図書館の歩みを振り返ってみることにいたしました。

砂防図書館の使命は一口で言えば、砂防関係の図書・資料を広く皆様に利用していただくことと、永く後世に残すべき貴重な図書・資料を保存することであると思っています。30 年をひとつの区切りとして、また平成 27 年(2015)9 月 1 日砂防会館別館 A3 階への移転を機に、利用される皆様へのきめ細かなサービスの提供、使いやすさ、図書・資料の充実などを目指し、ご満足いただけるよう気持ちを新たに出発いたしました。そして皆様のご希望に添えるよう砂防図書館のスタッフ 3 人で誠心誠意をもって努めていきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。30 年を迎え、そして本誌を出版するに当たり、ご挨拶申し上げます。

館長 大久保駿  
事務局長 上野雅人  
司書 松本美善

# 目 次

## 砂防図書館 30 年のあゆみ

### 砂防図書館 30 年のあゆみ

1. 砂防図書館は昭和 59 年(1984) 12 月 3 日に開設されました	13
2. 砂防図書館が充実してきました	14
2.1 砂防図書館に収納する書物を系統的、システムティックに整えるため、 「図書選定委員会」を設置しました	
2.2 多くの方々からたくさんの書物の寄贈を頂いてきました	15
2.3 砂防図書館業務の充実を図ってきました	
2.3.1 図書分類番号の作成	
2.3.2 図書目録検索	
2.3.3 閲覧室の開始	16
2.3.4 視聴覚資料の整備	
2.3.5 図書整理の諸基準・マニュアルの整備	
2.3.6 利用者へのサービス	
2.3.7 図書館業務の充実	17
2.3.8 利用者の拡充	18
2.3.9 貴重図書の選定	21
2.3.10 蔵書の充実	
2.3.11 情報収集と提供	
2.3.12 特別コーナーの設置	
3. 終わりに/夢をこえて(村上康子)	22
付表	
砂防図書館 30 年のあゆみ(事柄・蔵書数・年間利用者数)	24
砂防図書館 30 年のあゆみ(歴代館長・幹事長・事務局長・職員)	25

## 設立

砂防図書館は、昭和 59 年(1984)12 月 3 日に開設し、砂防に関する文献・資料を収集して砂防関係の調査・研究・行政に関わる方々の参考に供し、併せて広く国民の土砂災害防止意欲の向上に寄与することを目的としています。

## 共同事業者

砂防図書館は下記の共同事業者によって運営されています。

(公益社団法人) 砂防学会  
(一般社団法人) 全国治水砂防協会  
(一般財団法人) 砂防・地すべり技術センター  
(一般財団法人) 砂防フロンティア整備推進機構  
(一般社団法人) 斜面防災対策技術協会

## 図書館の規定・ガイドライン

砂防図書館を運営していくために、「砂防図書館運営規程」・「砂防図書館利用内規」・「砂防図書館視聴覚資料貸出内規」を整備し、砂防図書館の図書・資料などの整理・保存等のために、「図書・資料受け入れの作業要領」・「受け入れ・装備マニュアル」・「図書館管理システム入力マニュアル」の要領等で、登録・保存・利用への対応に万全の体制を整えています。

## 開館日・時間

開館日 月・水・金  
開館時間 AM10:00～PM4:00  
休館日 開館日以外の曜日および祝日・年末年始

## 利用資格

共同事業者の個人会員・法人会員・職員、国土交通省および地方公共団体の職員、小中・高生、大学生・院生、並びに図書館長の許可を得た方を対象にしています。

上記以外で利用を希望される方は、利用申込書に必要事項を記入のうえ、利用料 1 回 500 円を添えて申し込めばご利用可能です。

## 利用方法

入館時に受付で入館手続きを行なってご利用ください。

図書館は一部開架式となっています。開架図書は、自由に取り出して読むことができます。閉架式の書庫内にある図書は、図書検索用の端末機で検索した上、ご要望の図書を館員がご用意いたします。

## 貸出し

図書・資料の貸出しは行なっていません。

但し、視聴覚資料のみ貸出しができます。(貸出期間：14日間、貸出本数：3本)

## 複写サービス

◆著作権に抵触しない範囲で文献複写できます。

○館内複写 モノクロ1枚 30円 カラー1枚 100円

○郵送複写 モノクロ1枚 50円 カラー1枚 100円 + 送料実費

○FAX複写 1枚 70円

## レファレンスサービス

砂防に関する資料のお問い合わせを対面(開館時間内)、またはメールでお受けします。また、当館に所蔵がない場合は、所蔵している図書館を探しだす所蔵調査を行なっています。お気軽に館員にご相談下さい。

## 蔵書構成

- ・砂防に関する図書、雑誌、報告書等
  - ・砂防に関する学位論文
  - ・国土交通省や都道府県、市町村などの行政機関が作成した砂防に関する広報資料、工事史、管内概要・管内図など
  - ・共同事業者が発行する出版物
  - ・赤木記念文庫等
  - ・砂防事業関係 DVD, CD, ビデオテープなど視聴覚資料
- 全資料数 約 30,000 点 (平成 27 年(2015)9 月現在)

## 図書の分類

現在の図書分類番号は下記の独自分類の 22 分類で行っています。

### 図書分類番号

00 砂防	12 自然・地理
01 治山	13 地震
02 侵食	14 火山
03 地すべり	15 警戒避難・災害情報
04 急傾斜地崩壊	16 災害・防災
05 なだれ	17 土木
06 崩壊・のり面	18 河川
07 土石流	19 ダム
08 土砂水理と総合土砂管理	20 海岸
09 流木	21 森林
10 落石	22 その他
11 砂防環境	

※ 独自分類：資料を独自に分類し、当館では砂防を中心に災害・防災、土木、河川、森林等といった分野を 00～22 に大別し、更に詳しく分野別に 4 ケタで細分類を行っています。

さらに、この分類を 158 に細分類しています。一例として「00 砂防」の細分類を紹介します。

### 00 砂防

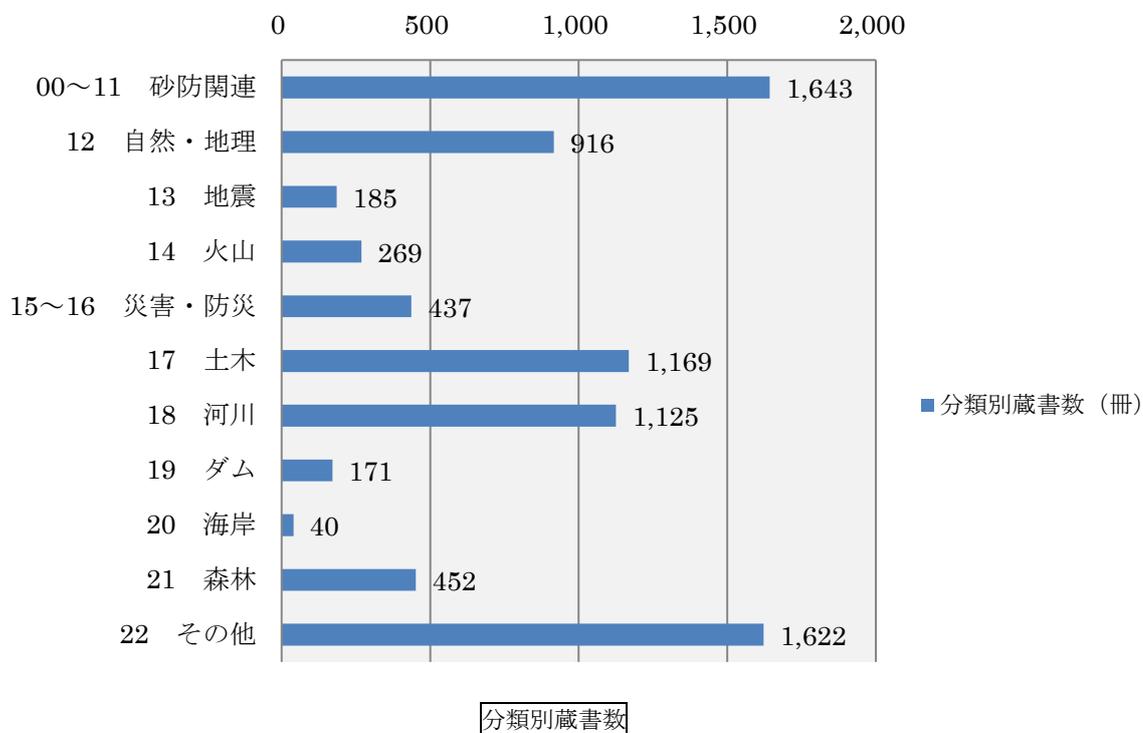
00.00	辞典・用語集・ハンドブック
00.01	砂防一般
00.02	砂防史
00.03	砂防行政・法規
00.04	砂防工学
00.05	砂防調査（写真判読・リモートセンシング・観測システム）
00.06	砂防計画
00.07	砂防施設設計・施工（堰堤工・流路工・山腹工等）
00.08	水理模型実験
00.10	その他

また、砂防関連分野（00～11）の次に多い「22 その他」の蔵書の細分類も紹介します。

## 22 その他

22.00	総記（図書館, 百科事典, 一般論文集, 団体, 叢書）
22.01	哲学（哲学, 心理学, 論理学, 宗教）
22.02	歴史（歴史, 伝記, 地理）
22.03	社会科学（政治, 法律, 経済, 統計, 社会, 教育, 風俗習慣, 国防）
22.04	自然科学（数学, 理学, 医学）
22.05	技術（工学, 工業, 家政学）・環境工学
22.06	産業（農林水産業, 商業, 運輸, 通信）
22.07	芸術（美術, 音楽, 演劇, スポーツ, 諸芸, 娯楽）
22.08	言語
22.09	文学

■現在の分類ごとの蔵書は下図のとおりです。（平成27年(2015)9月現在）



## 蔵書の特別コーナー

蔵書は図書目録の基準に従い整理・保存をしていますが、特定のテーマを設定し、わかりやすく集中的に保管しています。

### ■ 海外コーナー

海外の砂防についての技術協力報告書を集中的に収集して、海外コーナーを充実させました。



### ■ 砂防関係博士論文コーナー

砂防に関する博士論文を保存し、現在114冊の論文を閲覧室に配架しています。

### ■ 文芸作品に見る砂防コーナー

土砂災害や砂防について取り上げられた小説などの文芸作品を収集し、閲覧室のコーナーに整理しています。



### ■ 砂防事業管内概要・管内図コーナー

砂防事業を実施している国土交通省の事務所及び、各都道府県の砂防事業の概要、パンフレット、管内図等を閲覧室に配架しています。



### ■ 砂防関係学会誌・「砂防と治水」コーナー

砂防学会の「砂防学会誌」、地すべり学会の「地すべり学会誌」、砂防協会の「砂防と治水」、砂防関係団体の機関紙などのバックナンバーを創刊号から現在の発行分まで全てをそろえています。



### ■ 貴重図書コーナー

特に貴重な資料について、閲覧室のガラス書棚に所蔵しています。



### ■ 赤木正雄コーナー

砂防の発展に尽力された赤木正雄博士の全著書 56 冊を「赤木記念文庫」として所蔵しています。

### ■ 個人からの寄贈

「池谷文庫」「戸田文庫」「木村文庫」などがあります。

### ■ ビジュアルコーナー

DVD、CD、ビデオテープ等の視聴覚資料は閲覧室に配架しています。また、これら全ての映像を HDD（ハードディスク）に収め、パソコンで視聴できます。



## 図書資料等のご寄贈

砂防図書館では、砂防、土砂災害に関する図書、資料等の寄贈を歓迎しております。ご寄贈いただきました図書、資料は大切に保存、活用させていただきます。

また、各機関・事務所・個人でお持ちの砂防に関する資料の分類・配架・保管に関してお困りの方は、ご相談ください。

## 新たな取り組み

砂防図書館は、平成 27 年(2015)9 月の移転を機に、さらに利用しやすさの拡充、所蔵図書・資料の充実、万全の保管に向けた方策などを順次実施していきます。その大きな事業の一つが、図書・資料のデジタル化です。

### ■ 図書・資料のアーカイブ・・・デジタル化

砂防図書館所蔵の図書・資料の検索・活用の便を図るためにデジタル化作業を開始しました。平成 25 年(2013)には基本構想を策定し、「貴重図書取扱基準策定」を行い、平成 26 年(2014)から順次作業を開始しました。貴重図書、絶版になっている書籍、破損のおそれのある資料など、著作権に配慮しながら順次整備していきます。デジタル化された図書・資料は将来ネット上で検索・閲覧できるようになります。特に遠隔地の利用者にとっては大変便利になります。

### ■ 砂防・防災情報の提供、情報収集・保存

平成 23 年(2011)、時々刻々変化する砂防や防災・災害、などの情報、行政情報などを収集し、情報提供するとともに保存する業務を開始しました。

### ■ フォトアーカイブ・・・デジタル化

平成 27 年(2015)、砂防図書館所蔵の災害写真、工事写真、砂防施設写真、流域の状況写真、海外の災害や砂防施設写真などを順次デジタル化して保存する事業を開始しました。

そして、「砂防図書館のこれから」という題で、当館司書松本美善が新たな取り組みについてその思いを記しました。

## ■ ■ 砂防図書館のこれから ■ ■

松本美善  
砂防図書館司書

この数年、インターネットやスマホが普及し、フェイスブック、 ツイッター、YouTube、Line などソーシャルメディアが一般的となり、また既存のTV、新聞、雑誌、書籍などのメディアからも人々は情報をより多く受信できるようになりました。また、ネット上で検索する仕組みの普及により、情報検索というものも多くの人々にとって身近になってきました。

しかし、その一方で多くの情報が入り乱れ、情報の「大洪水」が起きているように感じます。情報は過剰になり、探したくてもそこにたどり着けない情報、こぼれ落ちている情報があるのではないだろうかと思えます。

当館では、砂防に関係する様々な情報を収集し、ネット上では探すことのできない資料や蔵書、キーワード検索だけでは見落としてしまう資料も的確に利用者に提供したいと考えています。

そのためには、図書館員が自館所蔵資料と常に触れることで、それらの資料情報の知識をもち、コンピューターだけではつなぎ得ないテーマへのアプローチの方法で、利用者が想像し得なかった資料群へとつなぐレファレンスを行うことが大切であると思えます。

また、砂防、土砂災害を専門とする図書館は当館が唯一の施設であります。関連する全国各地の砂防資料館や博物館、団体機関とも今後は資料を通し連携を密にして、砂防に関する資料の内容を充実させていくことが今後の目標でもあると考えます。

当館開設から 30 年が経った現在、「土砂災害」「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」「土砂ダム(天然ダム)」「土砂災害警戒情報」「土砂災害警戒区域」「深層崩壊」「表層崩壊」等の用語が一般に知られるようになってきました。

「のどもと過ぎれば熱さ忘れる」ということわざがあるように人々は月日が経てば大きな災害も忘れてしまうでしょう。砂防図書館は、過去の災害から学び、未来の災害に備えるため、災害の記録および災害に関する調査・研究の文献・資料等の収集・整理、永久保存を行うことを目的として、利用者がどんな資料・情報を必要としているか常に考察し、砂防・土砂災害に関する豊富な資料を収集し、ニーズに応える姿勢を常に持ち続けたいと考えています。

出典：田中隆文ほか(2015. 8)『想定外を生まない防災科学：すべてを背負う「知の野生化」』古今書院

# 砂防図書館ご案内

## 砂防図書館

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-7-4

砂防会館別館 A3F

Tel : 03-5226-7997

Fax : 03-5226-7865

E-mail : sabotosyokan@sabolib.jp

URL : <http://sabolib.jp>



## 交通のご案内

地下鉄

- ・有楽町線・南北線・半蔵門線「永田町駅」  
4番出口より徒歩1分
- ・丸ノ内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩8分

## 砂防会館別館 A

砂防図書館は、砂防会館別館 A の 3 階にあります。入り口を入ると下図のように進みます。



砂防会館別館 (右)



別館 A 入り口



砂防図書館入口



3Fエレベーター

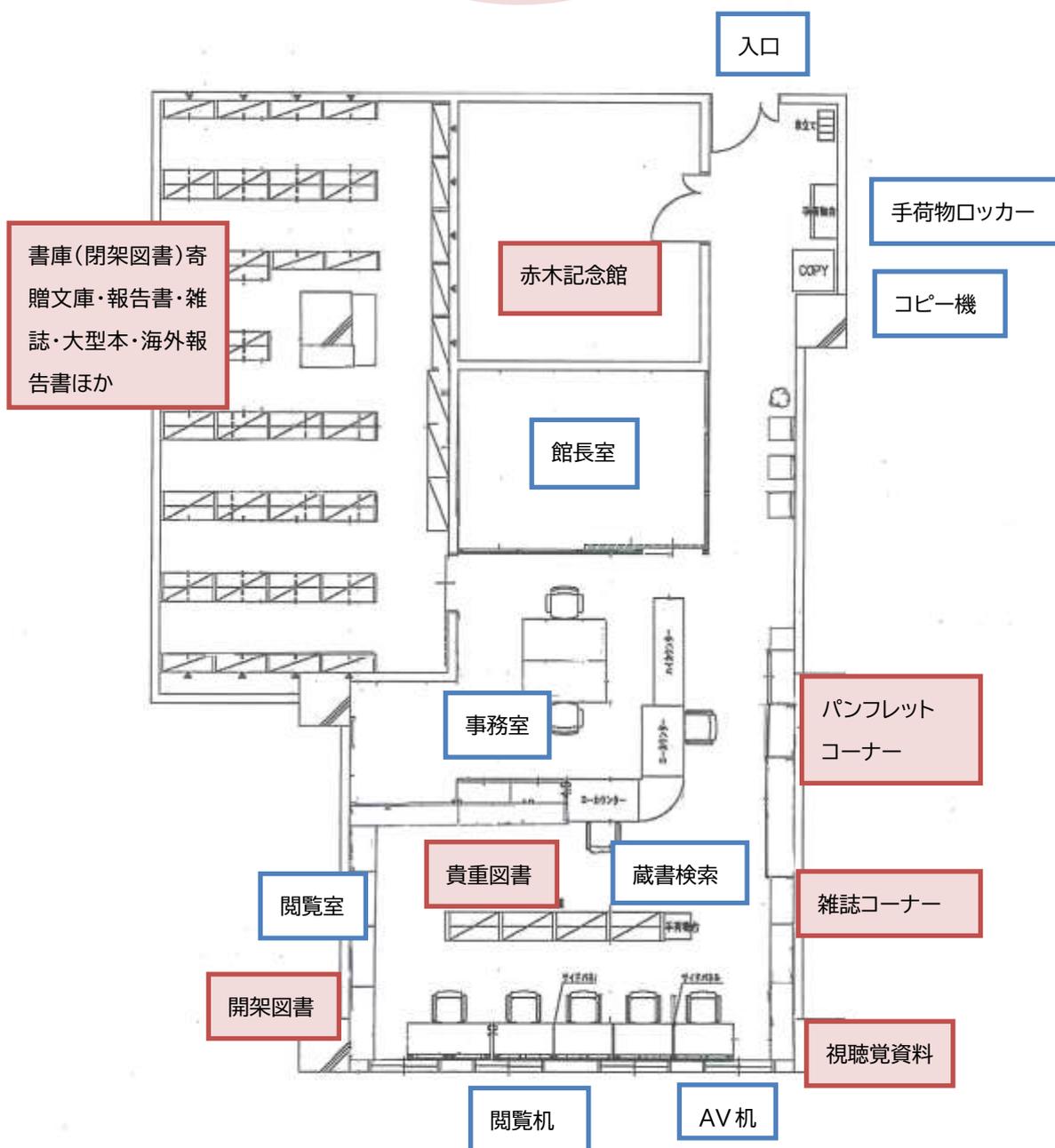


ロビー左 エレベーター

## 砂防図書館の構成とレイアウト

砂防図書館は事務室・閲覧室・書庫で構成されています。赤木記念館も併設されています。

### 館内図





書庫



赤木記念館入口



エントランス



事務室・受付カウンター



雑誌架



閲覧室・開架図書



蔵書検索端末機・レファレンスコーナー



視聴覚資料



閲覧室・閲覧机

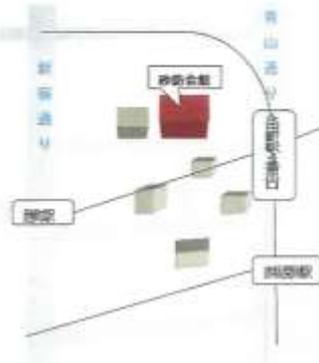


### 概要

**■ 設立の目的**  
砂防に関する文献・資料を収集して砂防関係の調査・研究・行旅に携わる方々の参考に供し、併せて広く国民の土砂災害防止意識の向上に寄与することを目的とする。

**■ 開設** 昭和59年12月

**■ 共同事業者**  
(一社)全国治水砂防協会  
(公社)砂防学会  
(一財)砂防・地すべり技術センター  
(一財)砂防フロンティア整備推進機構  
(一社)創高防災対策技術協会



### 砂防図書館

〒162-0005  
東京都千代田区千代田2-2-4 砂防会館別棟 2F  
tel 03-5291-7961 fax 03-5291-7963  
ホームページ: <http://sabo.jp>  
e-mail: [sabotokyo@post03.jp](mailto:sabotokyo@post03.jp)

## 砂防図書館

### ご案内



砂防の本なら砂防図書館へ

### 砂防の本なら砂防図書館へ

砂防図書館では、砂防関連の文献を体系的に収集・整理・保管して、読者の皆様にご利用いただいております。

**■ 開館日** 月・水・金  
**開館時間** AM10:00～PM4:00  
**休館日** 火・木・土・日・祝日  
年中年始



**■ 利用資格**  
当館ご利用は、共同事業者の個人会員・法人会員・職員、国土交通省および地方公共団体の職員、小・中・高生、大学生・院生、並びに図書館系の砂防関係の方を対象とします。尚、上記以外の方で利用を希望される方は、利用申込書に必要事項を記入の上、利用料1冊300円を添えて受付カウンターへお申し込み下さい。

**■ 開放方法**  
入館時には、事務室で受付手続きを行なってください。図書・雑誌・報告書の貸出しは、行っておりません。但し、資料閲覧料のみ貸出せます。  
貸出期間：14日間、3日まで

**■ 図書分類番号**  
※「砂防」の分類を22項目に分け、更に細分類した独自分類法で表わしています。

00 砂防	12 自然・地理
01 治山	13 地震
02 治水	14 火山
03 地すべり	15 宮内庁誌・宮内庁報
04 各種防砂設備	16 災害-防災
05 なだれ	17 土木
06 砂害-のついで	18 河川
08 土石流	19 ダム
09 土砂水害と総合土砂管理	20 港湾
10 治水	21 海洋
11 砂防環境	22 その他

**■ 図書構成**  
・砂防に関する図書、雑誌、学位論文、報告書等  
・国土交通省および関連府県等が作成した砂防に関する広報資料、工事誌、管内図等  
・共同事業者が発行する出版物  
・赤本記念文庫等  
・砂防事業関係 VHS、DVD、CD-ROM 等  
◆ 全資料数：約30,000冊

**■ 図書検索**  
事務室カウンターに備え付けの図書検索用端末で検索できます。

**■ コピーサービス**  
著作権に抵触しない範囲で文献を複製します。  
館内標準：白黒1枚 30円  
カラー1枚 100円  
館外標準：白黒1枚 30円  
(450円) カラー1枚 100円  
FAX標準：1枚 70円




**■ レファレンスサービス**  
砂防に関する資料のお問い合わせは、お気軽にスタッフへご相談下さい。  
当館にない資料は所蔵している図書館を探し出し、文献等を入手する所蔵調査を行っています。

2015.8

## 1. 砂防図書館は昭和 59 年（1984）12 月 3 日に開設されました

昭和 59 年（1984）1 月、（社）全国治水砂防協会の赤木正雄顕彰会が所蔵する「赤木記念文庫」の蔵書約 3,000 冊を基に砂防図書館設立準備会を立ち上げ、設立に向けて本格的な活動を開始しました。

同年 7 月、砂防学会、（社）全国治水砂防協会、（財）砂防・地すべり技術センターで構成された「砂防図書館運営委員会」を設置し、砂防図書館運営のいろいろの取り決めに検討しました。この 3 つの組織が共同事業者となって運営することとし、所要の費用を拠出し、運営委員も各事業者で構成することとしました。設立趣意書は次のように定められました。

### 「設立趣意書」

最近では、公共の図書館が整備され、蔵書も豊富になってきた。さらに特別の分野では各種の専門図書館も開設され、実務調査研究に際し、文献や書籍を利用することが便利になった。建設・防災関係でも、土木学会、日建連、災害共済会等の専門図書館が特色ある運営をしている。

しかしながら、砂防に関する文献・書籍は、各大学、土木研究所、（社）全国治水砂防協会等に所蔵されているにすぎなく、一般に公開されていないのが現状である。

砂防研究技術の進歩と砂防事業の発展のためには、砂防に関する図書・文献・その他の資料類を収集して、砂防研究技術者の参考に供し、併せて広く国民の土砂災害防止意欲の向上に寄与することが急務である。

ここに志を同じくする砂防学会、（社）全国治水砂防協会、（財）砂防・地すべり技術センターの協力と建設省砂防部の後援を得て、砂防図書館の設立を図ろうとするものである。

そして、同年 12 月 3 日に（社）全国治水砂防協会より借り受けた砂防会館内の 1 室（地下 1 階）で砂防図書館が開設されました。

開館日を月・水・金、開館時間を午前 10 時から午後 3 時までとし、利用については、「共同事業者の会員及びその職員」と定めてスタートしたのであります。



開設当時の砂防図書館

## 2. 砂防図書館が充実してきました

### 2.1 砂防図書館に収納する書物を系統的、システマティックに整えるため、「図書選定委員会」を設置しました

昭和 62 年（1987）に、砂防図書館「図書選定委員会」を設置しました。選定委員には砂防関係に精通している（社）全国治水砂防協会、大学、砂防学会、（財）砂防・地すべり技術センター、建設省等の職員で構成することとし、次のようなことを決めました。

- 1) 砂防図書館に収納する書物の選定基準の作成
- 2) 砂防図書館で購入する書物の選定基準の作成
  - ・定期的に購入する刊行物
  - ・ビデオ、映画、スライド
  - ・その他
- 3) 外部に公開すべき書物の基準の作成
- 4) 砂防関係図書・報告書類の図書分類番号の作成
- 5) 図書目録の作成
- 6) 砂防図書館 PR 用パンフレットの作成
- 7) 他学会図書館等との交流の在り方の検討

そして平成元年（1989）、砂防図書館へ収納する図書の選定基準を次のように決めました。

- 1) 単行書
  - ① 基礎、応用学問の教科書、参考書等
  - ② 都道府県史、市町村史、工事事務所史、河川史、災害史、砂防史、工事史等の歴史資料
  - ③ 災害記録や写真集
  - ④ 行政機関の公開資料
- 2) 報告書 公開された調査研究報告書
- 3) 雑誌
  - ① 雑誌類 砂防及びこれに関連する学会等、各種機関の定期刊行物
  - ② 大学紀要等 砂防及びこれに関連する講座のある大学、研究所等の刊行物
  - ③ 講演会、会議論文集等 砂防及びこれに関連する学会、団体の主催・共催又は後援する発表会、講演会等の論文集等
  - ④ その他 上記のほか砂防図書館長が必要と認めるもの

この「図書選定委員会」は、平成 9 年（1997）に、砂防図書館の運営の細部について話し合う「砂防図書館運営幹事会」に衣替えしました。多くの委員・幹事が知恵を絞って砂防図書館の運営の基盤をつくりました。

## 2.2 多くの方々からたくさんの書物の寄贈を頂いてきました

砂防図書館は、書物の購入を予算措置して実施してきました。蔵書の9割方は寄贈していただいた書物で構成されています。昭和61年(1986)に、故戸田福三郎氏ご夫人の園枝様から戸田記念図書、昭和62年(1987)に、(社)全国治水砂防協会から赤木記念文庫、平成3年(1991)に、故池谷彰氏ご夫人の富美恵様から池谷文庫、そして平成12年(2000)には、(財)砂防フロンティア整備推進機構から木村正昭文庫の寄贈がありました。東京大学や京都大学などの研究室、そして、砂防関係の機関、個人からもたくさんのご寄贈を頂いており、この積み重ねが今日の砂防図書館の宝となっています。皆様のご厚意、ご協力の賜物であります。

さらに、平成23年(2011)4月、(社)全国治水砂防協会所蔵の「古文書」の管理の委託を受け、砂防図書館の図書目録の中に組み込みました。

平成26年(2014)には(一社)全国治水砂防協会の「赤木記念館」所蔵の資料・図書を図書目録の中に組み込むことになりました。

## 2.3 砂防図書館業務の充実を図ってきました

### 2.3.1 図書分類番号の作成

砂防図書館開設時に、砂防図書館独自の分類番号を作成し、これに基づき図書の分類、整理を開始しました。砂防及び関連の図書・資料を収集・保存するために砂防図書館独自の分類番号としました。

蔵書の増加、分野の拡大にともなって、平成19年(2007)、分類番号を3桁から4桁に増やしました。これに伴い平成20年(2008)には、全蔵書の図書ラベルの張替え、蔵書点検を行いました。

### 2.3.2 図書目録検索

発足当時から「カード目録」で検索を行ってきましたが、平成4年(1992)から3ヶ年計画で図書目録入力をOA化しました。

平成10年(1998)に図書管理・検索システムの見直しを行い、平成11年(1999)に更新しました。カード目録作成は継続して行っていましたが平成17年(2005)に廃止しました。

カード目録



事務室の一角に  
設置した閲覧室



### 2.3.3 閲覧室の開始

従来、図書・資料は「書庫」に保管していて、閲覧したいものは司書が「書庫」から持ってきていました。いわゆる「閉架式」の図書館でした。

平成 9 年（1997）9 月に閲覧室を開設し、一部「開架式」の図書館に大きく変貌し、利用者の利便性が大きく向上しました。同時に「閲覧室整備 5 カ年計画」を開始し、順次整備を進めました。

### 2.3.4 視聴覚資料の整備

昭和 63 年（1988）、ビジュアルコーナーを設置し、ビジュアル資料の収集・配架、視聴覚サービスを開始しました。

平成 22 年（2010）4 月から、視聴覚資料整備 3 カ年計画に取り組み、16 mm フィルム、ビデオテープ、CD、DVD などを収集し、すべて DVD ヘデータ移行作業を行い、平成 24 年（2012）HDD（ハードディスク）に保存しました。そのため全視聴覚資料が手軽に視聴できるようになりました。

### 2.3.5 図書整理の諸基準・マニュアルの整備

平成 3 年（1991）に、図書目録の OA 化作業を開始し、翌年から本格稼働に入りました。平成 11 年（1999）、図書管理システムの更新を行い、平成 19 年（2007）に新規に図書館管理システム「ライブマックス」を導入し、管理、作業の正確、迅速化を図りました。

平成 25 年（2013）、「図書・資料受け入れ作業要領」、「図書館管理システム入力マニュアル、装備マニュアル」を改めて整備しました。

※装備とは

図書館で所蔵している様々な資料を利用しやすく扱いやすくするため、またその資料がどういった分類にされているのか背表紙にシールを貼ったり、バーコードを貼ったりすること。

### 2.3.6 利用者へのサービス

利用者が利用しやすいようにいくつかのサービスを整備してきました。

#### ● 開館時間の延長

平成 21 年（2009）から開館時間を従来の 10 時から 15 時を、10 時から 16 時までとし、1 時間延長しました。

#### ● 視聴覚資料の貸し出し

平成 3 年（1991）、「視聴覚資料貸出規則」を制定し、期間は 2 週間、貸出本数は 3 本までとしました。そして、平成 10 年（1998）に改正し、ビデオテープのほかに 16mm フィルム、CD、DVD などの貸出しを拡大しました。

- 文献複写サービスの実施

利用者、特に遠隔地利用者の便のため、平成2年(1990)、文献複写サービスを開始しました。来館者はもちろん、遠隔者の電話等での要請に郵送・FAXなどで対応しています。

- レファレンスサービスの実施

平成9年(1997)、必要な図書・資料のご相談、また当館に所蔵がない場合は、存在場所の問い合わせや取り寄せなどのサービスを開始しました。

※レファレンスサービスとは

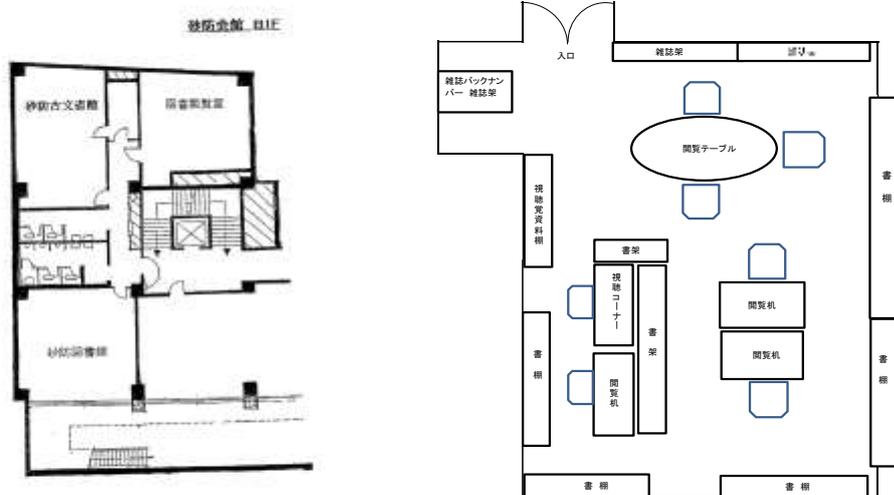
利用者の調査・研究に必要な資料・情報等の取得を図書館員がサポートするサービスのこと。

### 2.3.7 図書館業務の充実

- 砂防図書館の設備

砂防図書館には、事務室、閲覧室、書庫(2室)がありました。閲覧室には、約3,000冊の図書を開架書架に整理しました。また、ビジュアルコーナーも併設しました。砂防会館の会員室には砂防関連の機関紙を配架しました。

旧砂防図書館と旧閲覧室の配置及び写真



旧事務室



旧閲覧室



旧書庫

### ● 事務体制の整備

砂防図書館発足時は、館長及び事務局長と司書の3人体制でした。平成4年(1992)からは、共同事業者3団体の職員が2年交代で事務局長を担当していただくことになりました。平成26年(2014)からは専任事務局長による事務処理体制に戻りました。

司書は常時1人が常駐し、時には2人あるいは司書補助との2又は3人体制など、図書館業務の多寡に合わせて対応して来ました。現在は、館長・事務局長・司書の3人体制です。

平成3年(1991)には、「防図書館スタッフマニュアル」を制定し、作業分担・内容等を明確化しました。

### ● 共同事業者の新たな参加

従来の3団体に加え、平成4年(1992)から(財)砂防フロンティア整備推進機構(現:一般財団)、砂防広報センター(後にNPO法人)、平成12年(2000)には(社)地すべり対策技術協会(現:一般社団法人斜面防災対策技術協会)が共同事業者に参加いただきました。NPO砂防広報センターは平成26年(2014)の改組に伴い共同事業者でなくなりました。

### ● 専門図書館協議会に参加

平成2年(1990)、図書館業務の更なるレベルアップを目指し、企業・組織内にある他の専門図書館との連携や相互協力を図るために「専門図書館協議会」に加入しました。

※専門図書館協議会について

昭和27年(1952)、官庁・地方議会・民間各種団体・調査研究機関・企業・大学、その他の図書館、資料室、情報管理部門相互間の連絡と図書館活動の有機的連携をはかり、その向上と発展に資することを目的として設立されました。

### ● 砂防図書館の施設整備

平成21年(2009)、将来の砂防図書館の施設等の整備に備えるため、4ヵ年計画の施設整備基金計画を策定し実施しました。平成27年(2015)9月1日に砂防会館別館A3階に移転しましたが、移転や施設の更新に充当し、装い新たな砂防図書館を出発させることが出来ました。

### 2.3.8 利用者の拡充

#### ● 利用者の拡大のための広報活動

利用者の拡大や資料収集を目的に積極的なPR活動を行って来ました。  
昭和63年(1988)には、パンフレットを作成しました。

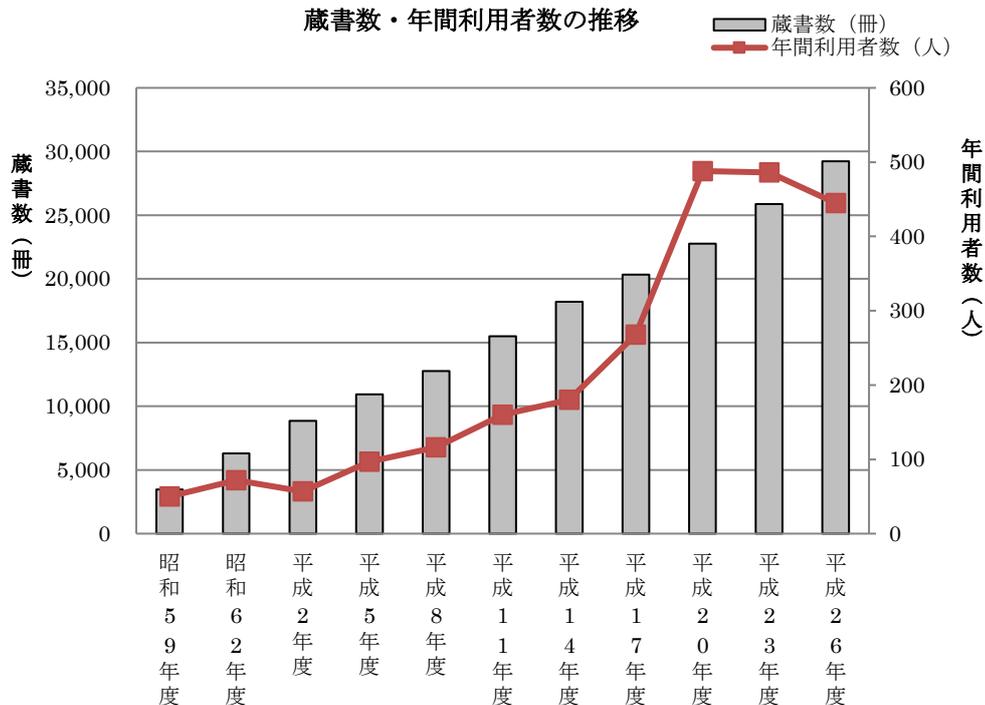


当時のパンフレット

平成6年(1994)には、砂防会館別館ロビーで砂防広報ビデオを上映し、砂防会館1階会員室に「雑誌コーナー」を設置しました。

このように工夫を重ねて、砂防図書館を沢山の方々に利用していただけるよう、お知らせを続けてきました。その結果、蔵書数の増加と相まって利用者数もどんどん増えていきました。

蔵書数・年間利用者数の推移



## ● 利用者の範囲の拡充

発足時は共同事業者の会員等に限定されていましたが、次第にその範囲を拡大し、共同事業者の他に国土交通省・都道府県・市町村などの地方公共団体の方々、そして大学などの学生の方々にも利用していただけるようになりました。

また、平成 23 年（2011）には一般の方々への利用を開始し（有料）、「利用内規」を制定しました。

## ● 砂防図書館の蔵書紹介

- ・ 砂防図書館開設時から、砂防協会発行の「砂防と治水」各号に新蔵書紹介を継続して行っています。また、平成 5 年（1993）には「砂防図書館だより」を掲載開始し、「本の話」の連載を始めました。
- ・ 平成 9 年（1997）、砂防学会機関誌「砂防学会誌 新砂防」に図書館紹介記事を掲載しました。
- ・ また、利用者アンケート等による利用者の意見を参考に利用者の拡大に努めてきました。

## ● 砂防図書館の情報発信

平成 18 年（2006）にホームページ、平成 21 年（2009）にブログを開設しました。

そして、平成 26 年（2014）にホームページのリニューアルを行いました（ブログは廃止）。是非ご覧ください。（<http://sabolib.jp>）



### 2.3.9 貴重図書の選定

貴重な図書、古文書等の古い書籍、絶版になっている図書、破損の恐れのある書籍等を貴重図書として指定し、保存に万全を期すようにしました。平成 25 年（2013）に「貴重図書取扱基準」を策定しました。

### 2.3.10 蔵書の充実

新規購入の他に皆様のご好意による寄贈書物により砂防図書館は充実してきました。蔵書数は図（p.19）のように順調に増加しています。

### 2.3.11 情報収集と提供

砂防・防災に関する情報を広く収集し、保存するとともに利用者に提供する業務を開始しました。

### 2.3.12 特別コーナーの設置

「砂防図書館のご利用案内」でご紹介したように、いくつかの「特別コーナー」を順次設置してきました。

- 赤木正雄コーナー：昭和 59 年（1984）設置
- 海外コーナー：昭和 61 年（1986）設置
- 貴重図書コーナー：平成 61 年（1986）設置
- ビジュアルコーナー：昭和 63 年（1988）設置
- 火山コーナー：平成元年（1989）設置
- 砂防関係博士論文コーナー：平成 17 年（2005）5 月設置
- 文芸作品に見る砂防コーナー：平成 25 年（2013）設置
- 砂防事業管内概要および管内図コーナー：平成 25 年（2013）設置



出典：廣住富夫著（2000.3）  
「じゃらん・じゃらん」より

### 3. 終わりに

砂防図書館開設時の初代司書 村上康子さんに、開設時の思いと砂防図書館を育て、また夢を育ててきた思い出、それから砂防図書館の未来に寄せる夢を書いていただきました。この「寄稿」で“砂防図書館 30年のあゆみ”を締めくくらせていただきます。

#### 夢をこえて

創立30周年おめでとうございます。少し前に久しぶりに砂防会館を訪れ玄関に入った時、階段の降り口に掲げられた砂防図書館のプレートが一番に目に入ってきました。その瞬間は懐かしさで胸がいっぱいになりました。同時に、砂防図書館がずっと変わらずに砂防会館にあることの意義や重みも強く感じました。立派に30周年を迎えられた姿を目の前にして、その初めの20年を砂防図書館と共にいられたことに喜びと誇りを感じます。

30年も前の懐かしい思い出を少し綴ってみます。理想の図書館をつくりあげようと意欲は満々、いつかはこんな風に、あんな風にと夢を描きながら通っていました。砂防の情報センターになる、という大きな目標を胸に秘め、そこに少しでも近づきたいと思い続けていました。来られた方々が必要とする情報をすぐに提供できるよう資料を収集し、整理整頓して保管しておくことが私の役目です。いつ何時でも、求められるものがあるように、そしてそれがすぐに見つかるように、備える日々でありました。

最初、開館前の数ヶ月間、何千冊もある資料の整理作業を猛スピードで行っていたのですが、事務局長から、あとどのくらいで終わりそうですか、と何度か、そして優しく尋ねられました。なかなか開館の見通しが立たなくて困っていらしたのですね。そういう思いを私は全く解せず、図書館として整えておくべきことは整えておかなくてはなりません、いつ開館できるかはまだわかりません、と言って譲らなかつたことを思い出します。ようやく開館した後も、利用者が1人であっても1000人であっても図書館として整えておくべきことは整えておかなくてはと言いつつ、何事も聞き入れてもらっていたように思います。ところが一方、私は砂防について何も知りませんでした。分類された資料の意味も題名の読み方もわからない。それと同時に、地名、大事な川や谷の名の読み方がわからない。辞典類を頼りに、日本中の川の名、谷の名を見つけ出していきました。専門用語については、徐々に覚えていくしかありませんでした。そんなところから始まりました。しかし、段々に実に嬉しい事がわかってきました。館長・事務局長はもちろん、運営される方々も、利用される方々も、どの方も皆、砂防の専門家であるということです。おひとりおひとりが生き字引です。このことは何に書かれているか、関連してどのような資料を揃えておいた

ら良いのか、その都度全て教えてくださいました。利用に来られた方々からは、今まさに何を求められていて何が必要なのかを毎回教えていただいていた事になります。たくさん  
の寄贈していただいた資料はどれだけ貴重なものであるかわかりません。すべての人が砂防図書館の力強い協力者であったのです。ですから、砂防図書館はまたたく間にどんどん充実していきました。業務内容が充実していくと、目の前にすることが次々に現れて、それに夢中にとりかかり、益々充実していく喜びを感じていました。資料が集まり、利用される方も少しずつ増え、パソコンが入り、閲覧室が開設され、図書館としての基盤が整っていきました。そうした中で私は退職したのですが、後の年月を積み重ねて今、砂防図書館がさらにさらに充実し、大きく成長した姿を見ることが出来ます。ネットワークが広がり、多くの方が訪れるようになり、さまざまな方に支えられて、名実ともに揺るぎのない砂防図書館に育っています。誠に喜ばしく、まぶしいほどです。もはや現実私の夢をはるかに超えています。

砂防図書館に集まった資料は、砂防の道を歩んでこられた先輩方の足跡です。資料を通していつでも、先人に問い、尋ねることができます。答えをみつける助けとなり、道を示してくれることと思います。ということは、砂防図書館は砂防の志を後世に伝え続けていく役目を担っている、とも言えるのではないのでしょうか。30年前に砂防図書館を誕生させた方々の思いはこのようであったのかなと今になって思います。特に、初代館長の矢野義男様と初代事務局長の杉山禎様には、遠い雲の向こうから、やっとわかったのかと言ってもらえたならうれしいです。

砂防図書館は、今もこれからも皆様に大事に育てられ、砂防の新しい足跡を積み重ね続け、益々役に立っていけることを確信しています。

村上康子

初代 砂防図書館司書

(現 特定非営利活動法人防災情報研究所)

## 砂防図書館 30 年のあゆみ（事柄・蔵書数・年間利用者数）

年	事柄	蔵書数(点)	利用者数/年(人)
昭和59年(1984)	1月 砂防図書館設立準備会 7月 第1回砂防図書館運営委員会(共同事業者・予算・職員・運営規程策定・図書目録、カード目録の整備・ 利用案内・図書原簿・赤木正雄コーナーについて検討) 12月3日 開館(開館日は、月・水・金 10:00~15:00)	3,474	50
昭和60年(1985)		5,229	159
昭和61年(1986)	戸田記念図書寄贈。海外コーナーの設置。	5,935	102
昭和62年(1987)	図書選定委員会設置。赤木記念文庫寄贈。	6,286	71
昭和63年(1988)	ビジュアルコーナーの設置。第一書庫の書架増設。PRパンフレット制作。	7,010	88
平成元年(1989)	図書選定基準の作成。火山コーナーの設置。図書館システムOA化検討開始。	7,669	47
平成2年(1990)	専門図書館協議会に加入。図書館運営規程改正。	8,593	57
平成3年(1991)	砂防図書館スタッフマニュアル制定。図書目録のOA化作業開始。 視聴覚資料貸出業務開始。視聴覚資料貸出規程の策定。池谷記念文庫寄贈。	9,520	64
平成4年(1992)	(財)砂防フロンティア整備推進機構、砂防広報センターが共同事業者に参画。 図書目録のOA化稼働開始。事務局を共同事業者が分担。	10,221	49
平成5年(1993)	機関誌「砂防と治水」に『図書館コーナー』掲載開始。 利用者アンケート実施。砂防行政史作成受託。	10,928	97
平成6年(1994)	砂防会館1階会員室「雑誌コーナー」の管理開始。 砂防会館新館ロビーで「砂防広報ビデオ」上映開始。 機関誌「砂防と治水」に『本の話』連載開始。	11,555	106
平成7年(1995)		12,114	96
平成8年(1996)		12,773	116
平成9年(1997)	運営幹事会を設置。(図書選定委員会を改組) 閲覧室開設。同時に閲覧室整備5箇年計画開始。 機関誌「砂防学会誌 新砂防」に図書館紹介記事を掲載。	13,621	149
平成10年(1998)	視聴覚資料貸出規則改正。図書管理・検索システムの見直し。パンフレット刷新。	14,470	205
平成11年(1999)	図書管理システム更新。	15,494	160
平成12年(2000)	(社)地すべり対策技術協会が共同事業者に参画。木村正昭文庫寄贈。	16,373	201
平成13年(2001)		17,247	200
平成14年(2002)		18,193	180
平成15年(2003)		19,158	170
平成16年(2004)	京都大学山地保全学研究室より図書寄贈。	19,798	164
平成17年(2005)	砂防関係博士論文収集開始。カード目録作成廃止。 機関誌「砂防と治水」データベース化業務受託。「赤木正雄日記」ワープロ打ち文書化業務受託。	20,341	268
平成18年(2006)	ホームページ開設。 機関誌「SABO」データベース化業務受託。「砂防および地すべり防止講義集」データベース化業務受託。	20,988	389
平成19年(2007)	新規に図書館管理システム「ライブマックス」を導入。 図書分類番号を3桁から4桁に変更。	21,796	558
平成20年(2008)	全資料の図書ラベル貼り替え作業及び蔵書点検。 土木学会図書館委員会図書館連携小委員会に参加。	22,778	488
平成21年(2009)	開館時間15時までを16時に変更。 コピー料金、文献複写料金の改正。施設整備基金創設。ブログ開始。	23,651	442
平成22年(2010)	視聴覚資料整備3箇年計画開始。	24,778	548
平成23年(2011)	一般の利用開始。利用内規策定。 砂防・防災情報の提供および情報収集・保存業務開始。 砂防古文書館所蔵の資料を図書館へ移管、並びに資料の登録・整備・保存。 東京大学森林理水及び砂防工学研究室より図書寄贈。	25,872	486
平成24年(2012)	視聴覚資料のVHS、DVD等をハードディスクへダビング、保存。ブログ終了。	27,083	594
平成25年(2013)	貴重資料取扱基準策定検討。図書受入れ作業要領の整備。 図書管理システム入カマニュアルの整備。貴重図書デジタル化構想策定。 図書管理システムのバージョンアップ。「パンフレット・事業概要コーナー」設置。	28,087	643
平成26年(2014)	ホームページのリニューアル。貴重資料デジタル化作業開始。 赤木記念館所蔵の資料を図書館へ移管、並びに資料の登録・整備・保存。 「砂防図書館30年のあゆみ」作成。	29,230	445
平成27年(2015)	砂防会館本館から砂防会館別館A3階へ移転。		

# 砂防図書館にようこそ

開館 30 周年記念誌

平成 27 年 9 月 発行

編集 発行所

砂防図書館

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-7-4

砂防会館別館 A3F

電話 03-5226-7997

FAX 03-5226-7965

<http://sabolib.jp>